

「ゆるり短歌会」第18回 平成29年11月9日(金)

一人の人が読んだかシミヨゴレ装丁もくずれし図書館の本 立川志乃

ニカラフルな前歯六本治療してピツカピカ真白アイドルのよう

三暑さすぎ木犀香る空港にみちのくより来し人を迎へり 戸部恵美子

四町並の影をゆらして七色に川面へ映し今宵満月

五浅き呼吸^{いき}する叔母の手を握りしむ話せぬ夫は心通へり 坂口まゆみ

六病床で米寿迎えし叔母の髪ブラシをかけて艶やかとなる

七病む夫が抱くみどり児笑返す右手よ右手今だけ動け

六父と二人障子貼りかえる昼下がりに合せて夢から目覚め

七風吹けば素直になびく日本人風吹かざれば穂やかに立つ 興梠恵子

八土の中幾年^{いくしせ}かかけ根を張りて今日一斉に芽吹く雑草

九寄する波引く波それをくりかへす波また波をわれは見てをり 堀越照代

十小波は幾たび生まれ変はりしか大波でありし日氷でありし日